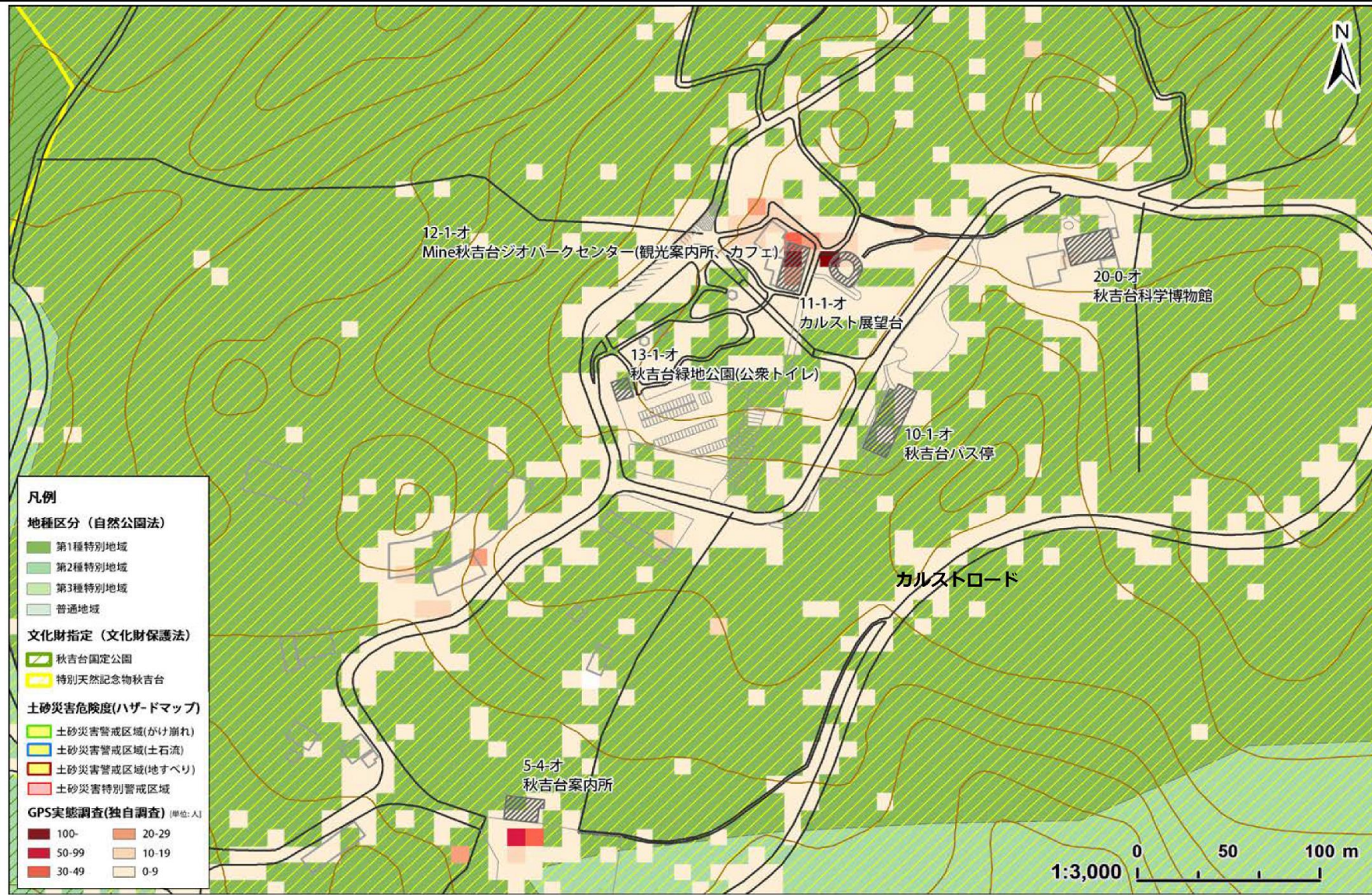


エリア配置図



エリア番号	エリア名称
-------	-------

オ	展望台周辺
---	-------

エリアの位置づけ

- ・秋芳洞北側、秋吉台上にある展望台周辺は、秋芳洞入口、秋芳洞商店街について観光客の集中度の高いエリア。秋吉台案内所は年間約1割の入り口である。
- ・秋吉台案内所（エレベーター）、秋吉台緑地公園、秋吉台バス停、Mine秋吉台ジオパークセンター、カルスト展望台、秋吉台科学博物館が立地している。

エリア周辺の状況

- ・秋芳洞の入洞者が、秋吉台案内所を経由し秋吉台へ訪問する際の最短ルート。秋芳洞（地下）～秋吉台（地上）のシーンの変化を観光体験として提供できる立地的ポテンシャルの高いエリア。
- ・秋吉台案内所の通過後、展望台に向かうまでは森林内遊歩道となっているが、空き家が見受けられ、良好な景観が感じ取れない。
- ・遊歩道を通過後、展望台までの経路は、案内等が不十分かつ視認性が悪く、アクセス性が悪い。

ポートフォリオ分析に基づく施設整備に関する課題抽出・整理

- ・11-1-オ.カルスト展望台、12-1-オ.Mine秋吉台ジオパークセンターは、ソフト評価のうち共に訪問頻度、満足度共に高く、秋吉台観光における中心的施設である。
- ・20-1-オ.秋吉台科学博物館はソフト評価は高く、特に修学旅行生訪問により利用状況が全施設中最も高い一方、ハード評価は非常に低い。カルスト展望台に近接し、立地的ポテンシャルは高いため、ハード面を含めた優先的な整備検討実施が望まれる。
- ・5-4-オ.秋吉台案内所は、ソフト、ハード評価共に低く、特に経済的評価が全施設中最も低い。必要施設であるため、ソフト、ハードを含めた総合的整備検討が望まれる。
- ・10-1-オ.秋吉台バス停は、ソフト評価が全施設中最も低く、ハード評価も低い。特に利用状況・実態調査が低いため、秋吉台緑地公園内駐車場への統合も視野に入れた、整備検討実施が望ましい。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

- ・秋芳洞・秋吉台の自然景観のもつ魅力を伝える上で、ポテンシャルが高いエリアといえる。
- ・ソフト、ハード評価共に高い施設と、低い施設が二分。現状維持・活用をしていく施設と、優先的に整備検討をする施設を見定め、メリハリある対応をとることが望ましい。

管理番号-棟番号-エリア番号	5-4-オ	10-1-オ	11-1-オ	20-1-オ	エリア総合	全施設平均
施設名称	秋吉台案内所	秋吉台バス停	カルスト展望台	秋吉台科学博物館		
ハード評価	老朽化判定	26.2	31.8	34.4	30.5	
	建築年数	0.0	11.5	29.5	1.6	
	災害危険度	25.0	25.0	25.0	25.0	
	耐震性能	0.0	0.0	50.0	0.0	
	バリアフリー性能	0.0	0.0	12.5	0.0	
合計	10.2	13.7	30.3	11.4	18.7	21.3
ソフト評価	経済的評価	3.6	14.2	13.8	14.4	
	利用状況	7.5	3.2	10.6	50.0	
	実態調査	9.8	0.5	20.7	2.1	
	満足度調査	17.0	0.0	13.9	12.1	
	合計	9.5	4.5	14.8	19.7	12.9